

石川さわ子 議会レポート

2018年冬号 発行 札幌市議会 市民ネットワーク北海道 ●ホームページ <http://snet21.jp/>
〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 TEL 011-219-0112 FAX 011-219-0113

安心・共生の21世紀を！

石川さわ子

●皆様のご意見等をお寄せください。お待ちしております。

札幌市には、106館の児童会館があり、幼児や小・中・高校生の放課後の居場所になっています。今後、児童会館の建替えに当たっては、小学校に地区センター等と複合化していくことになっていきます。しかし、小学校の体育館は学校開放事業で使用されていることが多く、児童会館に來ている子どもが思うように使えない場合があります。子どもたちにはドッジボールやバスケットボールが人気であり、複合化したとしても体で思いっきり動かすことができず、専用の体育スペースの確保を求めました。現児童会館の体育室とほぼ同じ広さ・高さのある多目的ホールを整備するとの答弁を得ました。

2017年第3・4回定例札幌市議会

誰もが安心して自分らしく暮らせる札幌をつくる

第3回定例会では、2016年度一般会計決算は、歳入9233億円、歳出9138億円となり、前年度よりも歳入が4.0%、歳出は3.8%増加しています。財源の54%を国庫支出金や市債等に依存しており、市債現在高は1兆2068億円と7年連続で増加しており厳しい状況です。一般会計歳入歳出決算の総額に、国民の監視・管理強化につながる共通番号、いわゆるマイナンバー制度関連としてシステム改修等12億8900万円が含まれていることから、一般会計決算の議案に反対しましたが、賛成多数で認定されました。「核兵器禁止条約に加盟するよう求める意見書案」に賛成しましたが、否決されました。

児童会館専用の体育スペースの確保を



討論に立つ石川さわ子
(10月31日、本会議場)

障がいのある方の雇用の拡充を

札幌市職員採用選考における身体に障がいのある方を対象とした募集要項によると、「自力で通勤でき、介助者が不要な人」等の受験資格の制限があり、障がい者の職業選択の自由が狭められています。募集要項にこうした制限を盛りこんでいない自治体もあります。また、京都市教育委員会では知的障がいの方を臨時的任用職員として募集しています。

札幌市においても共生社会の実現に向け、障がいのある方の雇用を積極的に拡充すべきことを求めました。

柔軟剤等の「香り」が気になるっていませんか？

衣類の洗剤や柔軟剤の「香り」で具合が悪くなる人が増えています。化学物質過敏症を発症してしまつたなどの相談が寄せられています。身近な地区センター等で学習会などを行い、化学物質の危険性や対策等についてお話しさせていただいています。困りの方がいらつしやいましたらお一人でも結構ですので事務所までご連絡ください。電話(219)01112



生活クラブ運動グループ地域連絡会で「香り」の問題についてお話ししました。(9月8日、麻生キッチンらあん)

公立夜間中学の早期設置を！

学ぶことは生きがい！

夜間中学は戦後の混乱や不登校、海外からの移住等で義務教育を十分に受けられなかった方々が学ぶ場です。2016年12月、「教育機会確保法」が成立し、文部科学省は各都道府県に最低1校公立夜間中学の設置を求めており、札幌市教育委員会、北海道教育委員会、民間支援団体等の関係者が設置に向け協議会での検討をすすめています。

■学ぶ権利の保障を

義務教育が6歳から15歳までと定められている中、戦争や家庭の事情等により教育の機会を奪われた中高年者の学びたい思いを受け止めてきたのは民間の自主夜間中学です。1990年、開設された札幌遠友塾には現在62人が在籍し、これまでに392人が卒業しています。毎週水曜日の夜、向陵中学校の教室で授業が行われ、複数のスタッフが一人ひとりに寄り添い手作り教材等で学びを支援しています。今後、協議会と遠友塾の教員同士の授業づくりの交流など密接な連携が課題です。本来、国が実質的な義務教育を行うべきことは言うまでもありません。

■学び直しができる社会を

自主夜間中学には、不登校の子どもや外国人も通っています。元不登校だった人、今不登校の人が自分を責めることなく休み、学びたくなった時に学び直す場が必要です。文科省の通知により、不登校で形式的な卒業をした人も夜間中学に入学することができるようになりました。教育機会確保法に基づき、公立夜間中学の早期設置を求めていきます。